

初期キャリア研究者ネットワーク“CS-NET”の運用開始に向けて

研究支援委員会 委員 島崎 剛(久留米大学)



2022年3月発行の学会ニュース89号で紹介した初期キャリア研究者のネットワーク“CS-NET”が、去る3月21日の立ち上げイベントを皮切りとしてスタートしました。

CS-NETの立ち上げイベントは、学会内外に対するネットワークの周知はさることながら、学会による初期キャリア研究者に対する研究支援の一環としてCS-NETの意義を示し、賛同を得るための重要な企画でした。本イベントは、初期キャリア研究者が相互に現状や課題を共有し合うことによるネットワークづくりの機運を高めることを目的として、2部構成(第1部:CS-NET紹介・初期キャリア研究者によるリレートーク、第2部:情報交換会)で実施されました。オンライン開催が功を奏したのか、北海道から九州まで、全国各地より80名を超える参加がありました。

第1部のリレートークでは、初期キャリア研究者3名による現実的でかつ切実な話題提供がありました。第2部の情報交換会では、参加者がグループに分かれ、第1部の話題提供をふまえた活発な情報交換・意見交換が行われました。参加者からは、初期キャリア研究者としての苦悩を共有できたことに対する安堵・満足感だけでなく、苦悩を抱えながらも、工夫して研究を進める他の参加者に刺激を受け、励みになったという声も上がりました。

初期キャリア研究者が置かれる環境や抱える課題は、社会福祉学の領域に限定されるものではありません。研究の世界に携わる以上、社会に対する成果の還元を期待されます。初期キャリア研究者は、時間的制約や不安定な立場など、特有の課題を抱えています。一方で、着実な研究遂行も求められます。本イベントを通じて、そのような状況・環境に置かれる初期キャリア研究者に対する研究支援として、CS-NETの活用可能性が感じられました。

また、本イベントでは研究支援委員会の委員以外に、運営担当として11名の初期キャリア研究者が活躍しました。CS-NETは、ネットワーク参加者の主体的な取組みを引き出すプラットフォームとしての機能も期待されることから、これらの活動を通じた研究力・発想力・企画力などの向上に資するという点も、研究支援として意義があるといえます。今後もCS-NETへの主体的な参加・参画を促進できるように、発信を継続する予定です。

現在、研究支援委員会内のCS-NET運営担当では、ホームページやメーリングリストの運用準備を進めています。また、立ち上げイベントで集約した多種多様な意見を参考とし、初期キャリア研究者が気軽に参加できるサロン企画として研究助成や論文執筆、ライフコースなどに関する座談会などの企画や、研究倫理に関する企画を検討しています。さらに、日本社会福祉学会第70回秋季大会では、スタートアップシンポジウム「研究を止(と)めない～様々な危機をどう乗り越えるか～」を企画しております。

CS-NETにつきまして、初期キャリア研究者の皆様にはもちろんのこと、多くの会員の皆様に関心を持っていただき、ご理解とご協力をいただけますと幸甚です。